

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)KAINOビル新築工事	階数	5階
建設地	大阪府堺市中区深井清水町3978番	構造	S造
用途地域	準防火地域・近隣商業地域	平均居住人員	50人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2022年8月16日
敷地面積	661㎡	作成者	中塚 啓貴
建築面積	536㎡	確認日	2022年8月19日
延床面積	2,106㎡	確認者	中塚 啓貴



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 81% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 81% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 81% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Qのスコア = 2.5**

**Q1 室内環境** (スコア: 2.5)

音環境	2.6
温熱環境	2.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.0

**Q2 サービス性能** (スコア: 2.7)

機能性	2.5
耐用性	2.9
対応性	2.8

**Q3 室外環境(敷地内)** (スコア: 2.4)

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

#### LR 環境負荷低減性

**LR1 エネルギー** (スコア: 3.1)

建物外皮の	3.1
自然エネ	3.0
設備システ	3.6
効率的	2.0

**LR2 資源・マテリアル** (スコア: 3.2)

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

**LR3 敷地外環境** (スコア: 3.0)

地球温暖化	3.7
地域環境	2.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	大阪府堺市に計画された美容関連の新社屋ビル。エントランス周りの外構や屋上緑化を行い、温熱環境負荷の向上に配慮します。	その他 ・特になし
<b>Q1 室内環境</b>	空調、照明制御の細分化等に配慮します。また、ロスナイを使用しCO <sub>2</sub> の削減と空調の節電に配慮します。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構、屋上の緑化を行い、温熱環境負荷の向上に配慮します。
<b>LR1 エネルギー</b>	照明器具はLEDを採用します。	<b>LR3 敷地外環境</b> 北側住宅地に向けてはプライバシーに配慮し、周辺環境に配慮した計画とします。
<b>Q2 サービス性能</b>	設備配管関係は耐用年数の長い材料を選定し、更新に配慮します。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)KAINOビル新築工事	BEE	BEEランク	
	建設地	大阪府堺市中区深井清水町3978番2、3980番	0.8		B-
	主用途/延床面積	物販店 / 2,105.50 m <sup>2</sup>			

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	2	●●●●●
エネルギー削減	4	●●●●●
建物の断熱性	3	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.7	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	2	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		3.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	4	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.6
建物の断熱性	評価項目	スコア	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.1
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	3	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値		3.0
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		3.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	4.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	—	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	